

2021年10月18日

各 位

A b a l a n c e 株 式 会 社
代 表 取 締 役 社 長 光 行 康 明
(コード番号:3856 東証二部)
問 合 せ 先 : 管 理 本 部 長 田 尾 和 也
電 話 : 0 3 - 6 8 6 4 - 4 0 0 1 (代 表)

「Abalance グループ 中期経営計画(2022-24)」策定のお知らせ

当社グループは、本日開催の取締役会におきまして、2022年6月期を初年度とする、2024年6月期までの3カ年を対象とした「Abalance グループ 中期経営計画(2022-24)」を決議しましたので、お知らせいたします。

本計画策定の背景には、世界各国にてカーボンニュートラルが宣言され、欧州を始め脱炭素化の動きが鮮明となるなか、我が国でも、2050年カーボンニュートラル宣言に続き、温暖化ガス排出削減(13年度比46%)、改正地球温暖化推進対策法や第6次エネルギー基本計画の改正など、再生可能エネルギーを巡る脱炭素化に向けた外部環境の大きな変化や、再生可能エネルギー分野における技術革新の急速な発展があります。

本計画は、2030年グループビジョン「再生可能エネルギーの中核的グローバル企業」を目指すための助走期間と位置づけ、太陽光パネル製造事業、グリーンエネルギー事業を“成長エンジン”として、グループの持続的成長、企業価値の最大化を図ってまいります。

2030年“目指すべき姿”から、「バックキャスト手法」により、達成までのロードマップを3カ年予算に織り込み、2024年6月期グループ売上高590億円、営業利益36億円、経常利益31億円を財務目標とする、今次計画の達成を目指してまいります。

なお、本計画の詳細につきましては、添付資料をご参照願います。

*本資料において提供している情報は、「今後の見通しに関する情報」を含んでおります。それらは、現時点における当社グループの見込み、予測及びリスクを伴う一定の想定に基づくものであり、実質的に当該記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含み、計画等の実現を保証するものではありません。

以 上



Abalanceグループ 中期経営計画(2022-24)

Abalance Group Vision For Sustainable Society

2021年10月18日
Abalance株式会社
証券コード：3856（東証二部）

◆ 企業理念 : Best Values

先進的な商品・業務・サービスの提供を中心に、価値の創造を通じて社会生活の改善と向上を図り、社会の持続可能な発展に貢献し続ける

◆ 2030年グループが目指す姿

“再生可能エネルギーの中核的グローバル企業”

【基本戦略】 保有発電容量1GW、年間製造目標8GW

外部環境の変化

企業行動は、脱炭素化へ
(自社で使用する電力を再生可能エネルギーにするRE100など)

【世界市場】

欧州: 各国で、カーボンニュートラル
今後10年間、1兆€投資目標

米国: パリ協定復帰、再エネシフト

中国: 2060年カーボンニュートラル
(温暖化ガス削減の開示枠組み)

→ 国際機関は、脱炭素化に向けた行動指針の開示を企業に求める新指針を発表

【国内市場】

EU等と比べて、1周遅れのなかで、
矢継ぎ早に政策が提言されている状況

- ✓ 2050年、カーボンニュートラル
- ✓ 13年度比46%、温暖化ガス排出削減
- ✓ 改正地球温暖化対策推進法の成立
- ✓ 第6次エネルギー基本計画 等

■ Abalanceグループ成長戦略について

- 中期経営計画(2022-24)は、2030ビジョンを達成する助走期間と位置付け、
- 「太陽光パネル製造事業」、
「グリーンエネルギー事業」を成長エンジンに、
当社グループの持続的成長、企業価値の最大化を図ります。

2030年“目指すべき姿”から、**バックキャスト手法**で“ロードマップ”を中計(FY2022-24)に反映

2021/6期の状況

- ベトナムVSUNの
新規連結化による
大幅な増収増益
- 太陽光発電所の販売
(フロー型)から継続
保有によるストック型
モデルへ移行
角田,大波発電所など
連系・売電開始
- 将来の成長を担う
新規事業の企図

中期経営計画 (FY2022-24)

- VSUN業績:
初期拡大期へ販路拡充
営業利益率の向上
設備投資の実行
- スtock型モデル:
開発力強化
開発スピードアップ
自社保有の促進
- カーボンフリー事業:
提供価値メニューの拡充
独自ビジネスモデル構築

目指すべき姿 (2030ビジョン)

企業価値の最大化

再生可能エネルギー
中核的グローバル企業へ
脱炭素化社会へ貢献

【成長戦略の柱】
国内と海外で
保有発電容量1GW
+
年間製造目標8GW

*1GWは原発1基分に相当。

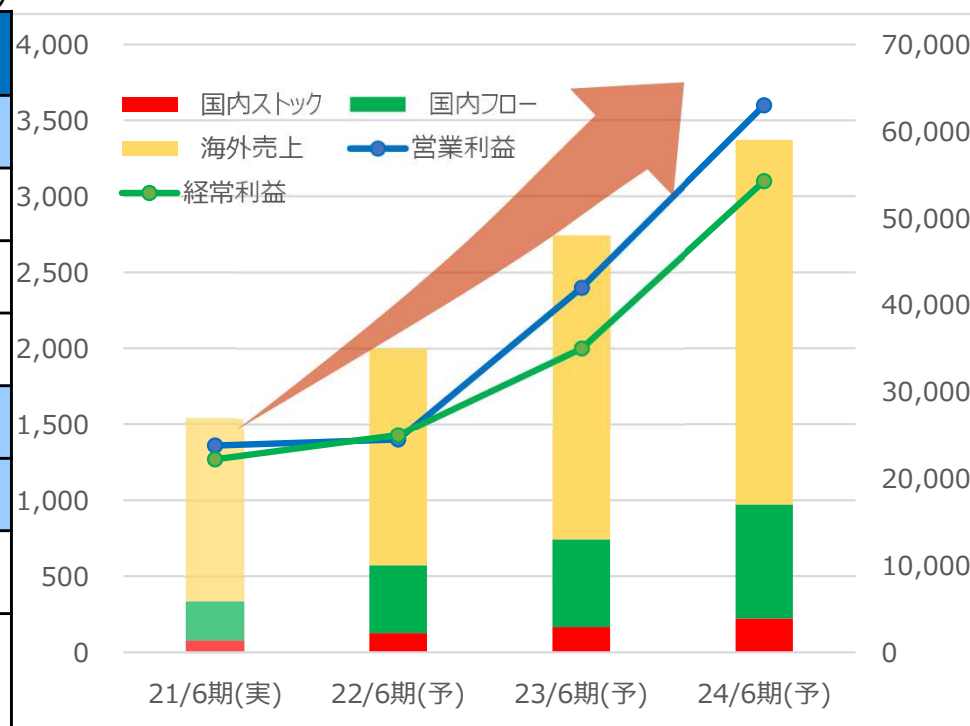
■ 中期経営計画-3カ年予算数値

- **2024/6期グループ売上高590億円, 21/6期比で2倍超を目指します。**
- **VSUNを原動力として, 営業利益, 経常利益についても倍増。**
- **再エネ分野への集中投資により, 格段の成長を図ります。**
→VSUN生産能力3.6GW, 国内投資額:450億円(150MW保有実現)

【中期経営計画-予算数値(FY2022-24)】

(単位:百万円)

	21/6期(実)	22/6期(予)	23/6期(予)	24/6期(予)
売上高	26,901	35,000	48,000	59,000
海外売上(=VSUN)	21,013	25,000	35,000	42,000
国内フロー(*1)	4,401	7,800	9,700	12,600
国内ストック(*2)	1,487	2,200	3,300	4,400
営業利益	1,361	1,400	2,400	3,600
経常利益	1,269	1,430	2,000	3,100
自己資本比率	10.2%	→		20.0%
株主還元	「利益還元」,「成長資金確保」のバランスを考慮のうえ,安定配当を継続			



(*1) 国内グループ企業が行う、発電所の販売、物販（パネル、蓄電池等）、リユース・リサイクル事業、省エネ事業等を含む。
 (*2) 太陽光・風力発電所等からの売電収入、O&M（オペレーション・メンテナンス）等の安定収益、キャッシュ・フローの源泉となる収益事業。
 (KPI) ROICを踏まえつつ、本中計期間もストック型移行過程にある点、及び新規事業の実行を考慮し、ROA 3%を下限として意識する。

- **2024/6期売上高は、21/6期比で倍増を計画。**
 - 増収要因に、近年伸長している北米を中心とする米国市場、欧州市場の売上伸長を想定し、3カ年予算に反映(⇒東南アジア需要増は、追加的な増加要因)
- **営業利益率の遡増を見込む。(21/6期:3.5%⇒24/6期:6.0%)**
 - 利益率の遡増は、売上増に従ってより利益インパクトが大きく、受注増に伴う操業度の向上による原価低減や海上輸送コストの低減等を見込む
- **将来3カ年で、1GW規模(1,200万\$)の設備投資を想定。**
 - 需要増に応じ、中計期間の追加投資も検討、24/6期以降も投資は拡大の方針

【中期経営計画-予算数値(FY2022-24)】

(単位：百万円)

	21/6期(実)	22/6期(予)	23/6期(予)	24/6期(予)
売上高	21,013	25,000	35,000	42,000
営業利益	731	1,000	1,900	2,500
営業利益率	3.5%	4.0%	5.5%	6.0%
年間製造能力	2.6GW	→		3.6GW
設備投資額(*)	1,300万\$	→		1,200万\$

(*)第3工場 設備投資:約13億円, 2021年7月稼働開始

⇒主に、日欧米向け最先端500+W, 600+Wシリーズパネル製造に着手(一枚のパネルで500W以上, 600W以上の発電)

■ 国内事業—重点5分野・施策

1. スtock型モデルの推進

- 2030年グループビジョンの最重要戦略
- 特別高圧を軸とした開発、保有発電容量 2倍超計画(150MW保有へ)
- 自社保有化スピードアップのため、M&A強化(平均開発期間:2年前後)

2. (セカンダリー)発電所販売

- スtock型(自社保有)移行過程におけるトップライン確保を目的として、セカンダリーを中心に、高圧・低圧案件等を中心とする販売

3. カーボンフリー事業の推進






- 企業・自治体等の再エネ利用ニーズ(RE100等)に応えるため、競争力のある付加価値の高い、自家消費スキームの確立(PPA等)
- 省エネ機器の提供、省エネコンサル等、サービスメニューの拡充、競争力強化
- バーディフュエルセルズ合同会社において、水素を活用したエネルギー貯蔵システムの開発、PV Repower株式会社にてリユース・リサイクル事業

4. 光触媒事業/IT事業

- 大手不動産、ホテル、大型イベント会場、ヘルスケア分野(病院、介護施設)等をメインとして、「光触媒LIFE」事業(フランチャイズ/代理店)を積極推進(24/6期:500社目標)
- M&A活用により、新分野を取り込みながら、IT事業の再構築

5. 自己資本比率の向上

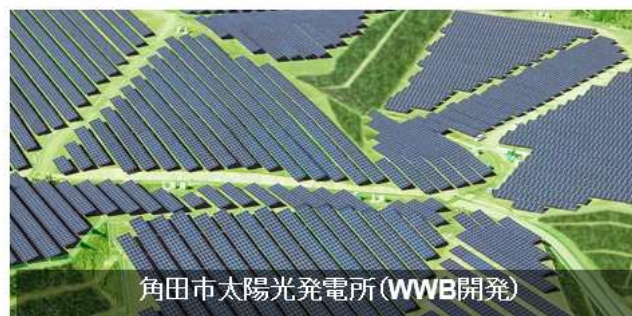
- 開発規模に比例した自己資本比率の低下に留意し、資金調達手法の多様化(グリーンボンド、ファンドスキーム、信託活用等)、効果的な資本政策への取り組み

■ Mapping	■ Abalanceグループの取り組み
    	<h2 style="background-color: #00a651; color: white; padding: 5px;">CO₂削減・地球温暖化防止</h2> <ul style="list-style-type: none"> ● グリーンエネルギー事業実績(累計): 3,440MW ● CO₂排出削減量(累計): 約200万トン ● 太陽光パネル製造、VSUN工場運営(生産能力: 2.6GW) ● 二国間クレジット(JCM)活用、カンボジア ハイブリット型発電 ● 水素を活用したエネルギー貯蔵システムの開発 ● 太陽光パネルのリサイクル・リユース(資源の有効活用) ● SDGs私募債の発行

<開発事例>

当社グループでは、
持続可能な脱炭素化社会の実現のため、

発電所の開発後も継続
して保有する自社保有化
を推進しています。



角田市太陽光発電所(WWB開発)



国東太陽光発電所(パローズ開発)



Dai Dung An Ha Factory roof top(Thang Long Power)
(WWB:グリーンエネルギー事業/グローバル)



Vietnam Sunergy Joint Stock Company(VSUN社)

■ Mapping	■ Abalanceグループの取り組み
	<h2 style="background-color: #00c853; color: white; padding: 5px;">ソーラーシェアリング、農業への取り組み</h2> <ul style="list-style-type: none"> ● メガソーラーシェアリング発電所の建設 ● Solar Sharing Packageの提供 ● 発電するビニールハウス「Maxar® EneZone」等の開発 ● 社会活動イベントの支援・技術協賛 (Peace On Earth, Earth Day等)
	<h2 style="background-color: #0056b3; color: white; padding: 5px;">ヘルスケア事業</h2> <ul style="list-style-type: none"> ● 「光触媒LIFE」事業 <ul style="list-style-type: none"> — 温室効果ガスを排出しない”未来の街づくり”へ貢献 — 空気浄化・汚れ防止等の効果が持続する ● スプレー型の抗菌・抗ウイルス製品「blocKIN」(ブロッキン)の開発 <ul style="list-style-type: none"> — 蛍光灯光にも反応(可視光応答型), 抗菌・抗ウイルス99.9%



【Abalance】新市場区分への対応

- 当社グループとして、「プライム市場」への指定替えを出来る限り早期に目指します。

- * 東証の一次判定結果の通知により、「スタンダード市場」への上場維持基準に適合していることを確認しております。
- * 「プライム市場」への指定替えにより、企業価値の向上と共に、技術革新が著しいエネルギー分野の優秀な人材獲得に資するものと考えております。

【VSUN】ベトナム市場へのIPO対応

- 2022年6月期中に、ベトナムの「UPCoM店頭市場」への株式公開を目標としています。
- 同市場への株式公開後に、ベトナム現地の本則市場であるハノイ証券取引所、又はホーチミン証券取引所への上場を目指していく方針です。

- * 現状、現地当局や証券会社との調整中であります。
- * 当社グループへの連結は維持する方針。

- 本資料に記載の情報は、経済・社会の情勢及び当社グループが合理的と判断した一定の前提に基づいて作成していますが、経営環境の変化等により予告なしに変更される可能性があります。
- 本資料において提供している情報は、「今後の見通しに関する情報」を含んでおります。それらは、現時点における当社グループの見込み、予測及びリスクを伴う一定の想定に基づくものであり、実質的に当該記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含み、計画等の実現を保証するものではありません。
- リスクや不確実性には、一般的な業界、市場の状況、金利、為替変動等の国際・国内の経済状況が含まれます。

<本資料の問合せ先>

グループサイト (<https://www.abalance.jp/>) の「お問合せ」、「業績・決算・IRに関して」(プルダウン選択) から、よろしく願いいたします。